

平成19年11月29日
交通政策審議会
第27回港湾分科会

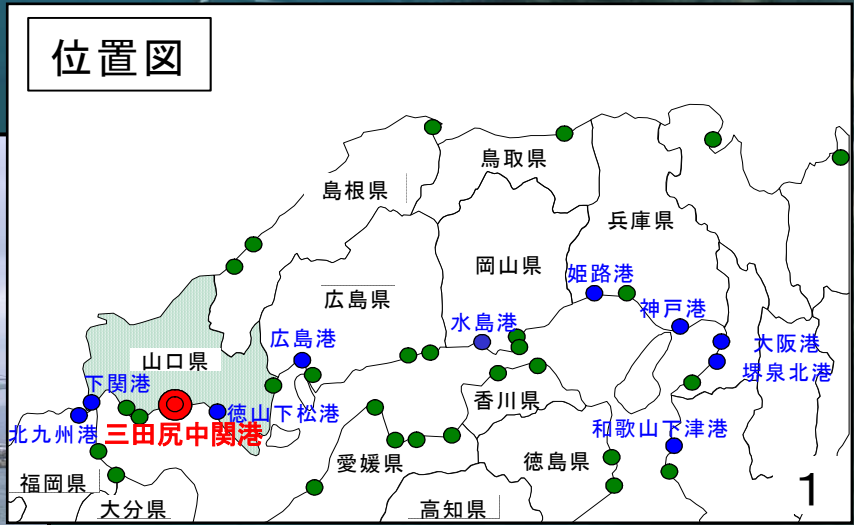
資料3-1

三田尻地区

中関地区

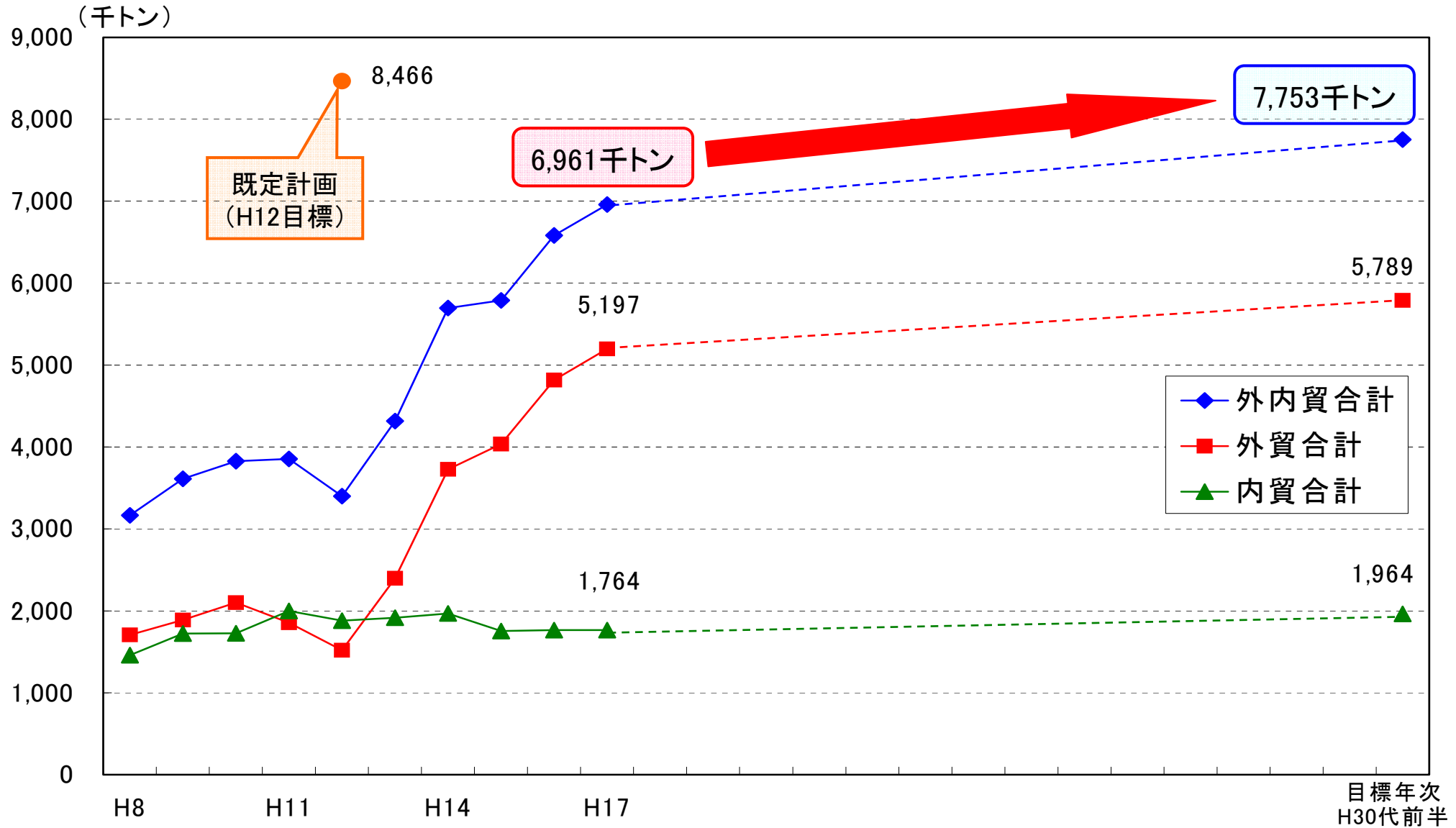
向島地区

三田尻中関港港湾計画 —改訂—



三田尻中関港の利用状況と将来の見込み

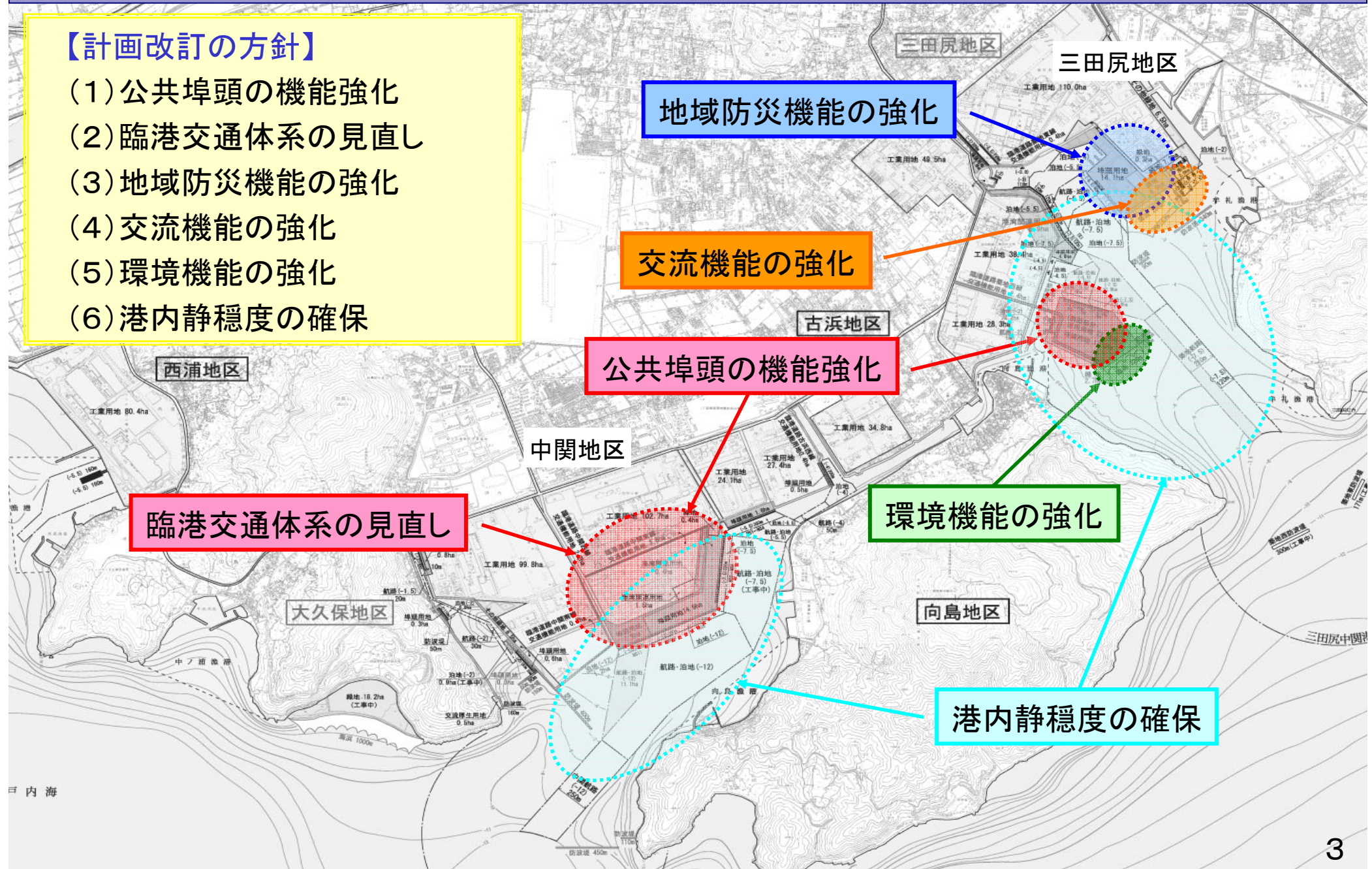
完成自動車の輸出増加、コンテナによる自動車部品の輸出増加が見込まれる



港湾計画改訂の方針

【計画改訂の方針】

- (1) 公共埠頭の機能強化
- (2) 臨港交通体系の見直し
- (3) 地域防災機能の強化
- (4) 交流機能の強化
- (5) 環境機能の強化
- (6) 港内静穏度の確保



中関地区

コンテナ貨物・完成自動車取扱機能の強化

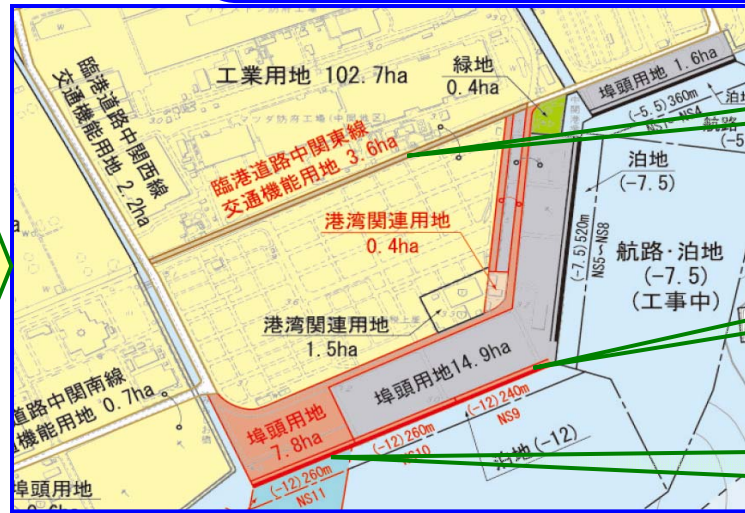
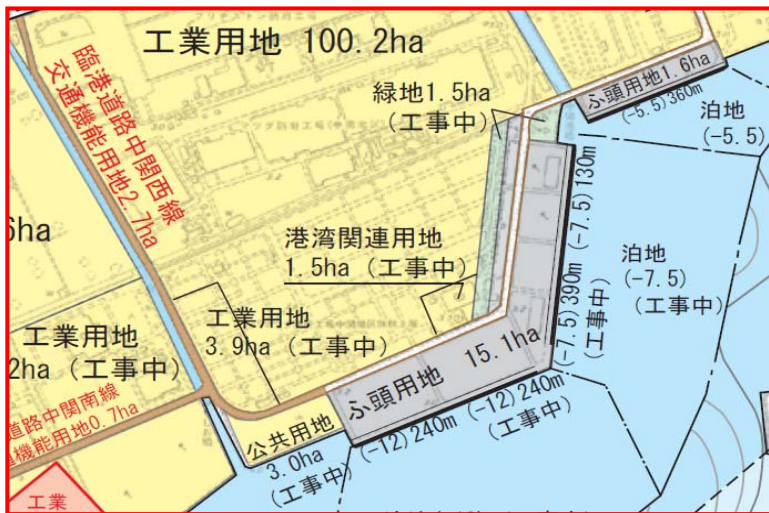


◇背景・課題

- ▶ 外貨コンテナ貨物の急増
- ▶ 大型自動車専用船の入港頻度増加に対する施設規模の不足
- ▶ 臨港道路を通過するコンテナ車両や一般車両等により完成自動車の移動に支障

◇対応

- ▶ 既存の岸壁の一部を自動車専用船に加え外貨コンテナ船対応として計画
- ▶ 既存の自動車専用船対応の岸壁を延長
- ▶ 自動車専用船対応の岸壁を新たに計画
- ▶ モータープール背後に臨港道路の付け替え



臨港道路の付け替え

自動車専用船に加え、外貨コンテナ船対応とする

自動車専用船対応岸壁 水深12m 延長260m



自動車専用船着岸状況

船舶の先端部が岸壁延長から飛び出している

完成自動車の移動にあたって臨港道路の交通を遮断

バース延長の不足に対応するため係船柱を海上に設置



完成自動車の埠頭用地への移動状況



岸壁の利用状況



三田尻地区

地域防災機能・交流機能・環境機能の強化

◆課題・背景

- 耐震強化岸壁の未整備
- 砂、砂利等の飛散による環境への悪影響
- 憩い楽しめる交流空間への期待
- 水質浄化機能の低下

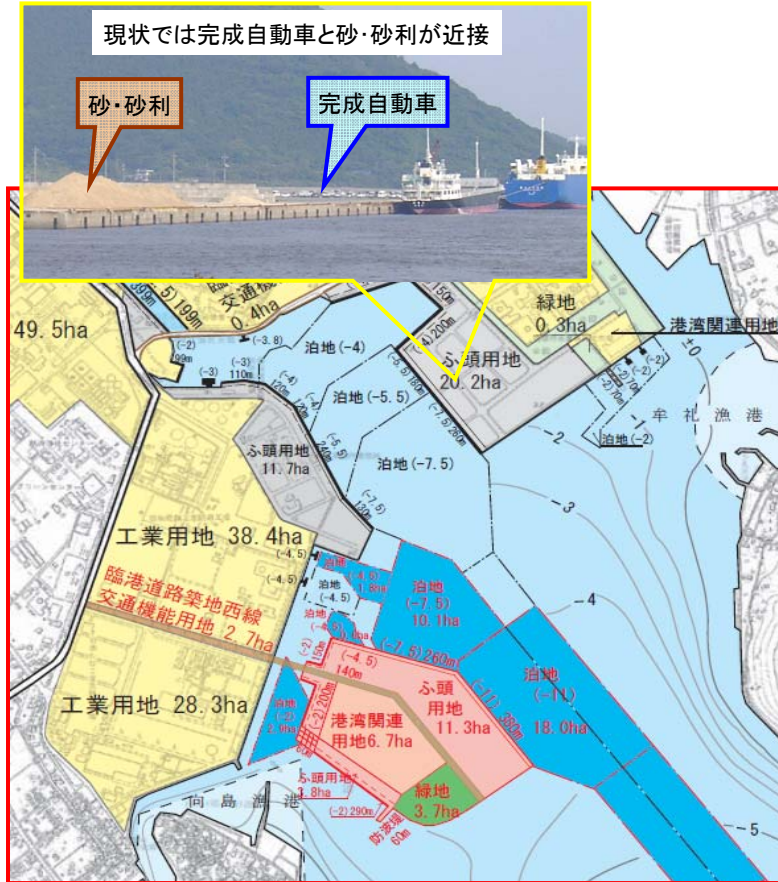
◆対応

- 耐震強化岸壁、オープンスペース等の配置
- バルク貨物(砂・砂利等)の人工島への移転
- 緑地、人工海浜等の位置付け
- 人工島への人工干潟の位置付け

現状では完成自動車と砂・砂利が近接

砂・砂利

完成自動車



臨港道路の橋梁の耐震化

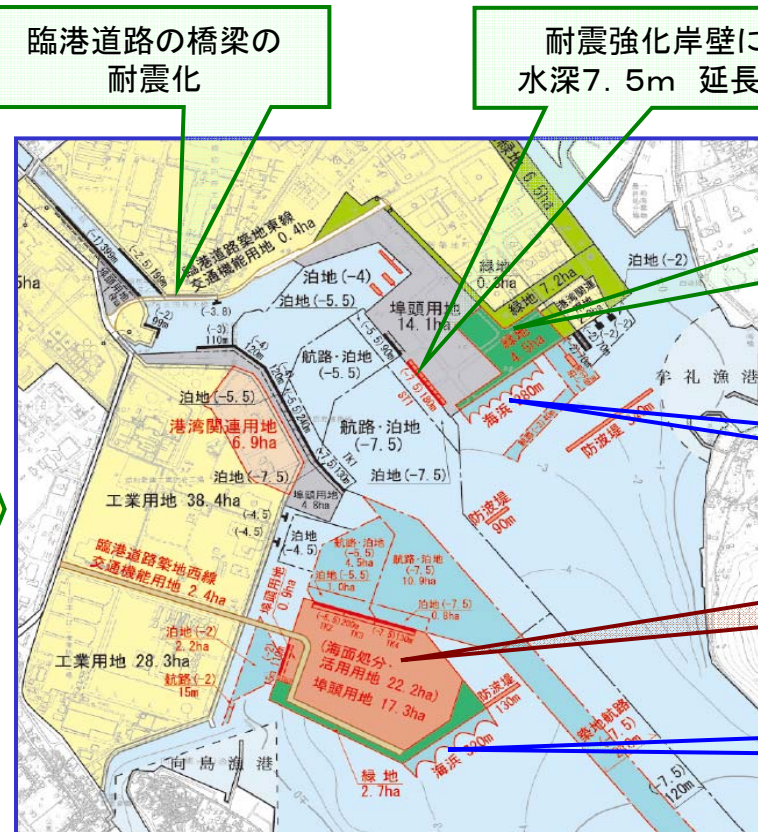
耐震強化岸壁に改良
水深7.5m 延長180m

緑地 4.5ha
震災時にはオープンスペースとして活用

人工海浜 280m

砂・砂利等の取扱いを人工島に移転

人工干潟 320m



中関地区 三田尻地区

港内静穏度の確保



◇課題・背景

- 港内静穏度の向上を求める強い要望
- 所定の荷役稼働率の確保

◇対応

- 港内静穏度の確保、所定の荷役稼働率の達成のため、新たに防波堤を計画

発生している支障例

- ✓ うねりにより離着岸に時間を要する
- ✓ うねりによりタグボートが必要となる
- ✓ 海水が完成自動車等にかかる
- ✓ 船体の上下動により荷役作業が中断される



三田尻地区の台風による被災状況(台風18号(H16))

